

令和3年度

リウマチ月間リウマチ講演会

多職種エキスパートによるリウマチ医療を目指して

プログラム・抄録集

日時：令和3年6月1日(火)～6月30日(水) WEB開催

主催：公益財団法人日本リウマチ財団
後援：厚生労働省
一般社団法人日本リウマチ学会
公益社団法人日本整形外科学会
一般社団法人日本臨床リウマチ学会
公益社団法人日本リハビリテーション医学会
公益社団法人日本医師会
公益社団法人日本薬剤師会
一般社団法人日本病院薬剤師会
全国保健師長会
公益社団法人日本看護協会
公益社団法人日本理学療法士協会
公益社団法人全国病院理学療法協会
一般社団法人日本作業療法士協会
公益社団法人日本介護福祉士会
一般社団法人全国訪問看護事業協会
公益社団法人日本リウマチ友の会

実行委員長ご挨拶



令和3年度リウマチ月間リウマチ講演会実行委員会
実行委員長 **川合 眞一**
東邦大学名誉教授/医学部炎症・疼痛制御学講座 教授

毎年恒例であった日本リウマチ財団「リウマチ月間リウマチ講演会」が、昨年は新型コロナウイルス感染症蔓延防止のために、残念ながら開催中止となりました。今年は安心・安全な講演会の開催を第一に考えまして、当財団としては初めての試みですが、どこからでもアクセス可能なWeb形式で開催させていただくことになりました。概要を紹介させていただきますと、一般・患者・医療関係者が自由に閲覧できるプログラムはリウマチ月間中の6月1日(火)から6月30日(水)までWeb上で公開いたします。また、事前登録していただいた医療関係者が視聴可能な講演会は6月12日(土)から6月20日(日)までオンデマンド方式で開催されますが、共催セミナーにつきましては、この間の土日を利用して互いに重ならないようにスケジュールを組ませていただき、ライブ配信いたします。

リウマチ医療は医師だけではとても対応できず、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士など、多くのメディカルスタッフに支えられています。日本リウマチ財団は現在までにこれら専門職を対象とした登録制度を作り、それぞれのエキスパートを育成してきました。年に一度のリウマチ月間講演会は、リウマチ医療にかかわる全職種に向けての研修会も兼ねて今までも開催してまいりました。そこで、今回の講演会全体のテーマは「多職種エキスパートによるリウマチ医療を目指して」といたしました。本講演会に参加していただければ、リウマチ性疾患の診断、治療に関する幅広い知識や臨床的な最新情報を得ることができると考えております。また、同時にこうした多職種エキスパートと患者さんがそれぞれの立場で参加していただくディスカッションの場も予定しておりますので、関係者がワンチームとしてリウマチ性疾患のチーム医療をどのように進めるべきかといった方向性を考えていただく契機になればと願っております。

最後になりましたが、今回のリウマチ講演会が、全てのリウマチ性疾患に関わる関係者にとって有意義な会となるように、皆様方の多大なご理解とご協力を賜りたく、ここにお願い申し上げます。

[プログラム]

患者様とご家族・医療関係者対象 オンデマンド配信

6月1日(火) 9:00～6月30日(水) 17:00

式典

挨拶	日本リウマチ財団 代表理事	高久 史磨
祝辞	厚生労働省健康局がん・疾病対策課 課長	古元 重和

授賞式

ノバルティス・リウマチ医学賞	中村 幸男
塩川美奈子・膠原病研究奨励賞	三苫 弘喜
日本リウマチ財団リウマチ福祉賞	土屋 暁子
日本リウマチ財団リウマチ専門職表彰	永井 薫
日本リウマチ財団リウマチ専門職表彰	舟橋 恵子
日本リウマチ財団リウマチ専門職表彰	村川 美幸

日本リウマチ財団学術助成等受賞者記念講演

座長	竹内 勤	日本リウマチ財団学術助成委員会 委員長
演者	中村 幸男	信州大学医学部整形外科 准教授
	三苫 弘喜	九州大学病院免疫・膠原病・感染症内科 助教
	土屋 暁子	JA 静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院 医療福祉科 科長代理、医療ソーシャルワーカー
	永井 薫	名古屋大学医学部附属病院 看護師
	舟橋 恵子	松原メイフラワー病院薬剤科 科長
	村川 美幸	山形大学医学部附属病院リハビリテーション部 療法士長

パネルディスカッション

「患者さんとともにリウマチ・チーム医療～均てん化から最適化ケアへ～」

司会	松本 美富士	桑名市総合医療センター膠原病リウマチ内科 顧問
パネリスト	織田 博子	佐川昭リウマチクリニック リウマチケア看護師
	亀山 俊	望星薬局 薬局長
	遠山 幸宏	新潟県立リウマチセンター 主任作業療法士
	長谷川 三枝子	公益社団法人日本リウマチ友の会 会長

患者さんとともにリウマチ・チーム医療～均てん化から最適化ケアへ～

桑名市総合医療センター膠原病リウマチ内科 顧問

松本 美富士

COVID-19のパンデミック下、日本リウマチ財団リウマチ月間講演会が2年ぶりに開催されます。講演会のメインテーマが「多職種エキスパートによるチーム医療を目指して」であります。

最近の関節リウマチの治療薬の目覚ましい進歩により、リウマチ医療が大きく変貌し、リウマチ患者さんの日常生活動作（ADL）や生活の質（QOL）が著しく改善しています。リウマチ治療の基本原則であるT2Tを実践するために、リウマチ医療には患者さんを「症状の専門家」として、患者さん参加型の多職種のエキスパートの連携・協働によるコンコーダンスモデルのチーム医療が有効とされています。これらによりリウマチ患者さんが、医療に自己決定権をもち、地域格差のない完結型の均てん化された、シームレスな時代時代の標準的かつ個別化、最適化医療を享受ができると考えられます。

そこで、恒例のパネルディスカッションを「患者さんとともにリウマチ・チーム医療～均てん化から最適化ケアへ～」と題してパネルが行われます。すなわち、テーマ1として、リウマチ専門職によるケア（ケア、薬学的管理及びリハビリの実践を含む）の概要と特性。テーマ2は、リウマチケアの標準化と均てん化。テーマ3には、リウマチケアの進化（個別化及び最適化）。これら3つのテーマについて、各専門職から自己の経験・実践を踏まえて論じて頂き、そして患者さん代表および友の会として、財団リウマチ専門職制度への期待と要望、さらに個別化・最適ケアの実態などについて経年的「リウマチ白書」から見えてくるものなどを語って頂く予定です。

このパネルによって、日本リウマチ財団のリウマチ専門職制度の質の向上と、さらなる進化がみれることを期待します。

受賞者の研究題目・功績

【ノバルティス・リウマチ医学賞】

日本国内のリウマチ研究の発展、進歩に大きく寄与する可能性を有する独創的研究に対して贈られる賞です。

中村 幸男（信州大学医学部整形外科 准教授）

研究題目：Wntシグナルを基盤にした関節リウマチの新たな治療戦略

【塩川美奈子・膠原病研究奨励賞】

膠原病と闘い、膠原病に苦しみ、薬石効なく亡くなられた故塩川美奈子様ご本人およびご遺族の意向により創設された賞です。

三苫 弘喜（九州大学病院免疫・膠原病・感染症内科 助教）

研究題目：全身性硬化症における血管内皮前駆細胞の量的・質的解析と新規治療への応用

【日本リウマチ財団リウマチ福祉賞】

リウマチ性疾患に悩む患者の方々に対して、永年に亘る社会的救済活動を通じて、その福祉向上に著しく貢献した方に贈られる賞です。

土屋 暁子（JA静岡厚生連リハビリテーション中伊豆温泉病院
医療福祉科科長代理、医療ソーシャルワーカー）

【日本リウマチ財団リウマチ専門職表彰】

リウマチ専門職として、リウマチ性疾患へ対する医療・ケアの向上に大きく貢献した方々を表彰するものです。

看護師

永井 薫（名古屋大学医学部附属病院）

薬剤師

舟橋 恵子（松原メイフラワー病院薬剤科 科長）

作業療法士

村川 美幸（山形大学医学部附属病院リハビリテーション部 療法士長）

令和3年度リウマチ月間リウマチ講演会

【実行委員会】

- 委員長 川合 真一（東邦大学名誉教授/医学部炎症・疼痛制御学講座教授）
- 委員 井上 博（井上病院 理事長）
- 岡田 正人（聖路加国際病院 Immuno-Rheumatology Center センター長）
- 幸田 正孝（一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 顧問）
- 高久 史磨（公益社団法人地域医療振興協会 会長）
- 高林克日己（千葉大学 名誉教授）
- 竹内 勤（慶應義塾大学 名誉教授）
- 田中 栄（東京大学大学院医学系研究科整形外科学 教授）
- 富田 哲也（大阪大学大学院医学系研究科運動器バイオマテリアル学 准教授）
- 西岡久寿樹（一般財団法人難病治療開発機構 代表理事）
- 松本美富士（桑名市総合医療センター膠原病リウマチ内科 顧問）
- 村澤 章（新潟県立リウマチセンター 名誉院長）

公益財団法人日本リウマチ財団

〒105-0004 東京都港区新橋5丁目8番11号
新橋エンタービル11階
TEL：03-6452-9030・FAX：03-6452-9031
URL：<https://www.rheuma-net.or.jp/>
E-mail：jrf@rheuma-net.or.jp